



関西鉄道贅沢旅

今回のChallenge21は

京阪神間を走る阪急・阪神・山陽・JRは、以前から通常とは異なる車両を用いた特急であっても無料であった。並走する競合他社とのつばぜり合いであり、「タダほど安い」という当たり前の庶民感覚とのマッチである。

しかし！今回の取材対象となるのは、特急料金であるとか、座席指定料金であるとか何らか**運賃以外の料金が発生する列車**である。それ故の「贅沢」なのである。

なお、今回は取材対象が広く、全ての贅沢列車に乗ることは時間的にも経済的にも負担が大きいことを懸念して各自取材とした。

対象の列車は

1. 専用車両を用いた有料の特急列車

前述の京阪神を除くと、南海や近鉄のように都市部と距離のある観光地を結ぶ鉄道の特急列車は有料のものが多く、近鉄の場合は都市と都市を結ぶ路線もあるが、大阪・名古屋間など距離が長い場合が多い。そのため同じ路線を走る普通列車や急行列車とは異なる特急専用車両を用意している。

近鉄の「アーバンライナー」やJRの特急列車などが該当する。

面白いのは南海の「サザン」で、8両編成のうち4両が特別車両を用いた指定席車両、残りが普通の車両を用いた自由席車両となっている。

2. 専用車両を用いた観光列車

観光地へ向かう車両には、豪華な内装仕様であったり、特別のサービスが受けられる列車がある。近鉄であれば、伊勢へ向かう「しおかぜ」、吉野へ向かう「青の交響曲」、南海の「こうや」等である。嵯峨野観光鉄道もこれに分類されるだろう。

3. 専用車両を用いた特急列車の中に特別を付与した車両

近鉄の「アーバンライナー」や「伊勢志摩ライナー」「さくらライナー」、南海の「ラピート」などのように、特急車両の中にさらにデラックスシートなど、他の乗客との差別化を図る目的の車両や座席を組み込んだものがある。

4. 無料の速達列車の中に着席を確保した車両

冒頭に述べた京阪神間の速達列車であるが、座席指定という概念を導入した。もちろん内装も特別仕様である。京阪のプレミアムカーに始まり、JRが新快速にAシート車両を追加、そして本年、阪急がプライベート車両を追加。

途中乗車でも着席が保証され、快適に移動したいという需要に応えている。



関西鉄道贅沢旅



関西圏の主な着席サービス列車（列車の始発/終着区間を抜粋）

(新幹線のみ自由席特急券)

近畿日本鉄道

発駅	大阪難波				大阪難波		
着駅	近鉄名古屋				賢島		
列車名	アーバンライナー		ひのとり		一般	伊勢志摩ライナー	しまかぜ
特別料金	レギュラー	デラックス 520	プレミアム 900	レギュラー 200	レギュラー	デラックス 420	特別料金 1050
特急料金	1930	1930	1930	1930	1640	1640	1640

近畿日本鉄道

発駅	大阪難波			大阪阿部野橋			
着駅	近鉄奈良		近鉄京都	吉野			
列車名	特急	あをによし	あをによし	特急	さくらライナー	さくらライナー	青の交響曲
特別料金	レギュラー	特別料金 210	特別料金 210	レギュラー	レギュラー	デラックス 210	デラックス 210
特急料金	520	520	790	520	520	520	520

南海電鉄

発駅	なんば		なんば		なんば	なんば
着駅	極楽橋	橋本	関西空港		和歌山市	和泉中央
列車名	こうや	りんかん	ラビートβ		サザン	泉北ライナー
特別料金	特急	特急	レギュラー	スーパー	座席指定券 520	特急
特急料金	790	520	520	730	—	520

JR

発駅	網干	京都	新大阪
着駅	野洲	関西空港	京都
列車名	新快速	はるか	新幹線
特別料金	Aシート 840	指定席 730	自由席
特急料金	—	1200	870

阪急電鉄

大阪梅田
京都河原町
特急
PRIVACE
500
—

京阪電鉄

淀屋橋
出町柳
特急
プレミアムカー
500
—

今回の記者と記事(目次)

P 29～32	F	京阪	プレミアムカー
P 33～34	T	J R	新快速 Aシート
P 35～36	TT	J R	新幹線 S Work
P 37～38	SY	近鉄	青の交響曲
P 39～40	Su	阪急	P R i V A C E
P 41	F	J R	こうのとり